



檜山北高
総合学科通信

鍊心大望

第18号 (令和4年11月発行)

○【キャリアI】上級学校見学

10月21日(金)に1年次生全員で登別市にある日本工学院北海道専門学校に見学に行きました。見学では始めに専門学校の入試課の方から進学に関する説明や講話をいただきました。

その後、事前に希望した学科ごとに分かれての体験学習をおこないました。

体験ではホテル科は「おもてなし」に関する学習をおこない、実際にホテルのカウンターを利用したの受付をおこないました。

建築科では自分で実際に家の設計をおこない、自分の設計したデザインをVRで体験するなどのより専門的な学習をおこなうことが出来ました。

今回の上級学校見学を通してより自分の進路に関する考えを深めたり、ビジョンが明確な状態で普段の学習にのぞめたらと思います。



○保育体験を行いました

9月26日(月)3・4時間目に、2年次生の選択科目「生活と福祉」の授業において、せたな町の保健師の方をお迎えして保育体験を行いました。様々な育児に関わる体験をするため、「抱っこ体験」「妊婦体験」「調乳体験」の3種類の体験を行いました。

「抱っこ体験」の様子です。保健師の方からの説明を真剣に聞いています。



コロナ禍以前は、近隣にお住まいの子育て中のご家族にご協力をいただき、乳幼児ふれあい体験を行っていましたが、感染状況拡大防止のため、ここ数年は赤ちゃんの人形を使用し実施しています。抱っこの他、着替えやおむつのつけ方も体験しました。



「妊婦体験」の様子です。交代で妊婦体験セットをつけて全員が体験しました。靴ひもを結ぶのも洗濯物を干す・取り込むのもお腹に気をつけなければなりません。



「調乳体験」の様子です。自分たちで調乳して実際に飲んでみました。



丁度いい温度かどうかを確認中と離乳食の試食



3つの体験をローテーションで行い、最後に代表生徒から講師をしていただいた保健師の方へお礼の言葉を述べて体験を終了しました。



様々な体験をしながら感じたことがその後のレポートに多く書かれていました。

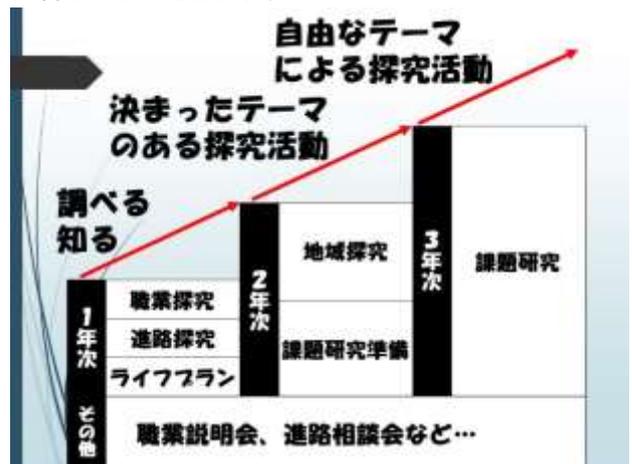
「実際に人形ではなく赤ちゃんだったら動いたりもするので精神面での疲労も出てきそう」「妊婦体験では階段の上り下りがきつく、靴紐も結べなくなるので、自分も将来妊婦をサポートしてあげられるような人になりたい」「ミルクを作る作業が思っていたより大変で、これを1日に何回も作るお母さん方は本当にすごい」「自分の親がたくさん苦勞して育ててくれたことを改めて知った」

他にもたくさん感じたことが書かれており、今回の体験で保育についてじっくりと考える良い機会となりました。せたな町の保健師のみなさんありがとうございました。

○檜山北高校のキャリア教育について

本校は総合学科であり、自分の興味・関心に応じ、様々な科目を選択可能としています。

特に農業・家庭・商業科目には普通科にはない科目を設置しています。それと共にキャリア教育に力を入れることにより、将来社会の中での自分の生き方・在り方について深く考え、自覚を持って進路選択できるための機会を豊富に得ることができます。



本校ではキャリア I「産業社会と人間」、キャリア II・III「総合的な探究の時間」を中心として各科目の授業、行事・部活動、地域との関わり等を通して、自分の生き方・在り方＝「キャリア」に関する学習を進め、将来社会で生きていくために必要な資質・能力を高めていきます。(上図は取組みと成果のイメージ)

来月は学習成果発表会があります。今後とも総合学科・キャリア教育の取り組みを紹介していきます。